

議会議会 きたら だより

72号

令和5年
11月9日発行



もくじ

- 臨時会・全員協議会・定例会・委員会報告 …… 2
- 議員6名の一般質問 …… 9
- 議会活動報告 …… 12

発行／設楽町議会 編集／広報委員会
〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前14番地
TEL 0536-62-0532 FAX 0536-62-1675
E-mail : gikai@town.shitara.lg.jp



第4回 全員協 議会(7月)

7月25日に全員協議会を開催し、協議事項1件を審議しました。

- ・新しいインターネットサービスについて

第5回 全員協 議会(8月)

8月21日に全員協議会を開催し、協議事項3件を審議しました。

- ・新城北設楽交通災害共済組合の廃止及び今後の手続きについて
- ・給食調理場のセンター化構想について
- ・議会に付すべき指定管理者の指定に関する追認議案について

第3回 臨時会 (7月)

7月25日開催し、6件の議案を審議・採決を行いました。

件名	結果	備考
▪ 財産取得契約の締結(田口分団消防ポンプ自動車購入)	可決	全員賛成
▪ 工事請負契約の締結(簡易水道配水管更新工事田口地内 R5-1)	可決	全員賛成
▪ 工事請負契約の締結(簡易水道配水管更新工事田口地内 R5-2)	可決	全員賛成
▪ 工事請負契約の締結(簡易水道配水管更新工事長江地内)	可決	全員賛成
▪ 工事請負契約の締結(公共下水道管渠布設工事田口地内 R5-1)	可決	全員賛成
▪ 工事請負契約の締結(公共下水道管渠布設工事田口地内 R5-2)	可決	全員賛成

簡易水道・公共下水道工事の舗装復旧は

- Q 国道257号における舗装復旧はどこまでやるのか。また、仮復旧から本復旧までの間の管理はどうなるのか。
- A 道路管理者である愛知県と協議しながら本復旧を進めていく。本復旧までの間は、状況を確認しながら適切な対応を行っていく。

公共下水道工事における推進工法の場所は

- Q 推進工法を行う場所はどこか。また、民家が近い時の対応は。
- A 谷下住宅の入口付近と杉平向住宅の入口付近の2ヶ所で、水路の下越を行う場所である。地域の方と調整をしながら、工を進めていく。

第3回 定例会 (9月)

9月4日から20日までの17日間の会期で開催しました。4日は議案の上程、説明、採決及び各委員会への付託を行い、6日は6名の議員による一般質問を行いました。8日に決算特別委員会(総務建設委員会所管分)及び総務建設委員会、12日に決算特別委員会(文教厚生委員会所管分)及び文教厚生委員会、14日に設楽ダム対策特別委員会を開催しました。最終日の20日は各委員会に付託された議案の審議結果の報告、採決を行うと共に追加上程された議案の審議・採決を行いました。

件名	結果
報告 令和4年度継続費精算報告書3件、健全化判断比率及び資金不足比率1件 / 計4件 簡易水道特別会計継続費精算報告書、公共下水道特別会計継続費精算報告書、農業集落排水特別会計継続費精算報告書、令和4年度健全化判断比率及び資金不足比率1件	特に意見等なし
同意 ①教育委員会委員の任命、 ②固定資産評価審査会委員の選任 / 計2件	①野口隼志氏 → 賛成多数で同意(6:3) ②氏原哲哉氏、鈴木伸勝氏、今泉逸司氏 → 全員賛成で同意
議案 財産取得契約1件、指定管理者の指定1件、交通災害共済関連4件、過疎計画の変更1件 / 計7件 財産取得契約の締結(役場庁舎内パソコン購入)、指定管理者の指定(やすらぎの里、追認)、新城北設楽交通災害共済組合の解散、解散に伴う財産処分について及び規約の変更、交通安全施策推進基金条例の制定、過疎地域持続的発展計画の変更	7件の議案を全員賛成で可決

件名	結果
議案 令和5年度補正予算 一般会計、4特別会計及び2企業会計 / 計7件 一般会計(第3号)、国民健康保険特別会計(第1号)、つぐ診療所特別会計(第1号)、名倉財産区特別会計(第1号)、津具財産区特別会計(第1号)、簡易水道事業会計(第1号)、下水道事業会計(第1号)	7件の補正予算を全員賛成で可決
令和4年度歳入歳出決算の認定 一般会計及び11特別会計 / 計12件 一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計、簡易水道特別会計、公共下水道特別会計、農業集落排水特別会計、町営バス特別会計、つぐ診療所特別会計、田口財産区特別会計、段嶺財産区特別会計、名倉財産区特別会計、津具財産区特別会計	一般会計及び国民健康保険特別会計は、賛成多数で認定(8:1) 10特別会計は全員賛成で認定
陳情4件、意見書の採択1件 / 計5件 ①定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書及び意見書、②私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために設楽町独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書、③国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書、④愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	①全員賛成で採択 ②賛成多数で趣旨採択(6:3) ③賛成多数で聞き置く(7:2) ④賛成多数で聞き置く(7:2)

■ 主な質疑

教育委員の任命の選考基準は

- Q** 教育委員の任命の選考基準と経緯及び地域性はいかがか。
- A** 広く教育行政に関心をもっている方を公募という形で募集し、面接を行った内容を加味している。また、地域性については、特別考慮していない。

庁舎内のパソコンのスペックは

- Q** 今は、Windows11が主流だがWindows10に落としている理由は何か。また、市販のパソコン単価よりも高額な理由は。

- A** 庁舎内で使っているソフトがWindows10に対応しているものなので、あえてグレードを落としている。また、ソフトを導入するための設定費用があるため高くなっている。

指定管理料(やすらぎの里)の支払いは

- Q** 4月には契約されていなかったことで、指定管理者への支払いはどうなっているのか。
- A** 契約は締結されてはいなかったが年度別協定を締結したので、4月に概算払いを行っている。

新城市の事務局(交通災害共済)の使用備品は

- Q** 新城市へ帰属する物品は。
- A** 書類を入れるロッカー、事務用品である。

令和4年度 決算認定

会計区分	歳出額	前年度比
一般会計	62億1,554万円	7.2%
特別会計(11会計)	21億801万円	2.9%

コロナ対策における病院統合・病床削減の中止、PCR検査等の拡大、福祉移送サービスや高齢者福祉タクシー補助金の改善、国保料の子供均等割りの全額免除などを求めたが受け入れられず、国保料は年度途中で突然引き上げられる始末だった。ミサイル攻撃対応のJアラート訓練は、軍備拡大や戦争に繋がるものである。決算認定は認められない。

田中邦利議員
反対

七原剛議員
賛成

討論
〔一般会計〕

財政面では、歳入において、特定財源はともかく一般財源の減少傾向が続いているが、歳出においては、義務的経費、その他経費ともに前年より減額されている。

事業面では、当初予算編成時の考え方に従い、関係人口の増加を目指した各種施策がとられている。他にも各種インフラ整備、景気対策等が執られており、福祉、衛生関連や土木費を始めとする予算も、国、県との連携のもと必要な措置がとられている。よって決算認定に賛成する。

決算の質疑

あれこれ

総務建設委員会

決算特別委員会に付託された令和4年度一般会計：11特別会計決算の質疑を行いました。

9月8日	総務建設委員会所管分の質疑	一般会計	112件
		4特別会計	0件

■ 主な質疑の内容

特定地域づくり事業

- Q 特定地域づくり事業推進補助金、今の所実績は。
A 組合員数は今年度2社増えて7社、マルチワーカーとして2名派遣している。

小水力発電事業

- Q 小水力発電事業は具体的にどどのような経営形態を検討しているのか。
A 本町単独、民間企業との共同出資（第三セクター）、民間資金等活用事業（PFI）の3案を取り上げて検討中。

ホームページリニューアル

- Q 町ホームページリニューアルをし、過去との違い伸び率など数値はどうなっているか。
A どういった方がみているか、どのような要望があるか今分析を依頼中で、結果は今年度末になる予定。

システム改修

- Q 住民情報システム改修委託のコンビニ収納対応、実績は。
A 今現在25%程度、コンビニ収納を利用する方が多くなっていると実感している。

マイナンバーカード

- Q マイナンバーカードの加入率は。
A 65%で県下最下位だと思う。

定住促進事業

- Q しあわせまちづくり報奨金交付事業、婚姻奨励1万円では少ないか。
A トータル的に支援できるような制度の見直しを行い、婚姻奨励の他、小・中・高の入学にあわせて奨励金が出るよう制度化している。ご家庭にとってその節目で奨励金があるのでよい制度と考えている。

間伐対策

- Q 3年度決算にはあった間伐対策支援事業、4年度には計上されていないのはなぜか。
A 対象地区がなく計上されなかった、5年度は要望があり継続的に支援対策は行っている。

広域農道の除雪作業

- Q 広域農道1期地区、2期地区の除雪融雪剤の散布はいくらかかっているのか。
A 除雪及び融雪剤散布の重機借上は870万円ほど、融雪剤購入費として557万円ほど支出している。

付替林道境川線の進捗状況

- Q 進捗状況が芳しくないが令和8年の完成に間に合うのか。

- ・ A 間に合うよう国に対して要望している。

産業振興

- ・ Q 起業チャレンジ新事業補助金、着々と成果を表していると思うがこれを見直す理由は。
・ A 令和5年度からは商工業活性化補助金として、従来内容に販路拡大や特産品開発というメニューを追加した。

農業経営収入保険加入推進事業補助金

- ・ Q 補助の基準はどのようなものか。
・ A 県の農業共済組合が取扱う収入保険に加入した農業者に対する推進補助という形で行っている。

鳥獣保護及び狩猟活動事業費

- ・ Q イノシシの幼獣単価が昨年の14,000円から7,000円に引き下げられた理由は。
・ A 国が成獣の捕獲の強化を目的に単価を下げた。

山ビル対策

- ・ Q 報奨でヤマビル対策の医薬材料費が無くなってしまったのはなぜか。
・ A 当初は予算計上したが、予想以上に要望が無く在庫で対応したため。

林道開設事業

- ・ Q 林道密度の引き上げの目標はあるのか。
・ A 林道開設事業の他、作業道開設事業の補助も行い森林整備を促進させている。

面の木園地公園施設

- ・ Q ほとんど利用されていない施設があるが、撤去や一般販売等は考えていないのか。
・ A 有効利用が難しいようであれば検討する。

東海自然歩道

- ・ Q 通行客が前年から4,000人減っているが、ダム建設の影響ではないのか。
・ A ダム建設による通行止め区間はあるが、原因としての確証は得ていない。

町内の道の駅

- ・ Q 道の駅に関連した観光施策は何を目標としているのか。
・ A 関係人口の増大と産業振興の両面で考えている。それぞれの道の駅の特色を生かし効果を上げていきたい。
・ Q 道の駅したらの交通誘導員業務委託費が前年度より大幅に減っているが、トラブルは無かったのか。
・ A 開業当時と比べ人の流れも落ち着いており、特にトラブル等は無かった。

町内の観光施設

- Q 予算をかけて整備をしているが、誘客についてどう考えているのか。
- A 道の駅や観光協会と連携し、町内の観光を盛り上げていきたい。
- Q 田峯城の改修に1,600万円かけているが、お客様は増えたのか。
- A 今回の改修は危険な状態になっていた馬防柵の改修工事である。

きららの森

- Q きららの森、今後の検討スケジュールは。
- A 国有地を町で購入し、民間企業を含め色々な発信をしてマーケティングやリサーチをし、町と一緒に活動できる企業があれば一緒に計画を立てていく。

町営住宅

- Q 維持管理費と家賃収入を長期的視野で均衡をとるつもりはないか。
- A 収益を求める事業ではない。今後も現状を維持し使用していきたい。
- Q ダム工事関係者も入居できるのか。
- A 収入要件、住民票の移動等、入居要件がクリアできれば入居可能である。
- Q 普通住宅の入居率が上がっているのに家賃収入が減っている理由は何か。
- A 各住宅への入退居の状況によりこのようなことが起こる場合がある。
- Q 特賃住宅の入居率を上げていくために家賃を下げたり、収入の要件を変えたりするなどの考えはないか。
- A 県へ働きかけをし、今後勉強していきたい。

橋梁点検委託

- Q 点検業務は現在どのような状況になっているのか。
- A 過去5年間で234橋を計画的に点検しており、現在2巡目に入っている。

町道等改良工事

- Q 予算からかなり増額しているものがあるが、原因は何か。
- A 工事の追加分と繰越明許による増加である。

河川整備

- Q 浚渫工事が年間1か所の施工では災害に対応できないのではないか。
- A 必要性、緊急性を検討し、順次進めていく。令和5年度は2か所施工予定である。
- Q 浚渫工事費が前年度より減額となっているが理由は何か。
- A 施工完了年度であり事業量が違うため。

新城消防設案分署の職員配置

- Q 配置職員の増減理由は何か。
- A 早期退職者が出たり補充が追いつかなかったりするためである。

非常備消防

- Q 準基本団員制度、今の状況は。
- A 一部来年度発足予定、制度としては始まっているが支援団員を準基本団員に移行する準備中。

防災行政無線

- Q 設楽町ホームページ連動試験委託の詳細は。
- A 防災行政無線はホームページ、防災アプリ、Twitter（現X）、Facebook、LINEと連動させている。そのための連動試験。

Jアラート訓練について

- Q 上空をミサイルが飛ぶから訓練をするというのは滑稽ではないのか。
- A 現在のところ訓練以外の方法はない。

基金運用について

- Q 基金の内一定額を国債や定期預金等で効率的に運用すべきではないか。
- A 国債等有利なものがあれば活用していきたい。

地方交付税について

- Q 決算額に近い金額を当初予算時に見込むことができた理由は何か。
- A 人口減少の影響が大きいいため前年度の98%で計上した。

総務建設委員会

令和5年9月8日(水)開催 / 付託された議案3件
付託された議案は全員賛成で可決すべきものと決しました。

決算の質疑

あれこれ

文教厚生委員会

9月12日 文教厚生委員会所管分の質疑	一般会計	105件
	7特別会計	9件

介護職資格取得支援事業

- Q 介護職不足が進んでいるが、介護職資格取得補助制度の活用が0件である。住民登録のある方と田口高校生に対して、しっかりとPRが出来ているか。介護職不足を補うスクーター（すきま時間のお手伝い有償ボランティア・マッチングサービス）についての評価を伺う。
- A 努力はしているが、人材が集まらないのが現状。スクーターについては介護職への参加も目指して行きたい。

地域介護予防活動支援事業

- Q 令和4年度は地域介護予防活動が前年度より増えたため全体の交付金自体は増えているが、一団体あたりの金額が減少しているのはなぜか。
- A 新型コロナウイルスの影響下で中止されていた地域支援事業が令和4年度から再開された。活動団体数も年度途中で増えたため、活動期間が短い団体もあり一団体あたりの平均金額が減少した。

配食サービス事業

- Q 配食サービスが伸びなかった理由と、一食当たり60円値上がりしている理由は何か。
- A 利用者が施設へ入所されたり、JAが配食サービス事業を始めたたりしたことが大きい要因。配食サービスの事業費の値上がりは、食料費の高騰、光熱費の高騰、物価高騰によるものである。
- Q 社会福祉協議会の配食サービスを続ける意義とは何か。
- A 社会福祉協議会と町内飲食店の協力と協調で高齢者の見守りがあり、飲食店と社協のお弁当で、味の変化を楽しむことができる。また、町民がボランティア精神を醸成する機会を得るなどの理由から、今後も社協の配食サービスを継続していく。

ふれあいごみ収集事業

- Q 令和3年度の高齢者等ごみ収集事業の利用は414件であったが、令和4年度の利用実績は。
- A 上半期（4月から9月）で260件、下半期（10月から3月）で284件、合計544件。

障害者福祉について

- Q 障害者要約筆記者派遣事業、障害者手話通訳者派遣事業が決算書に記載されていないのはなぜか。
- A 令和4年度は、この事業の派遣がなかったため。
- Q 緊急通報システム撤去数は何件あったか。
- A 撤去数は9件。

紙おむつ支給事業

- Q 当初予算に比べて、かなりの減額になったがなぜか。
- A 施設へ入所したり、亡くなったりする方が多かった。介護度が上がると広域連合からのおむつ支給に代わるため減額になったと考える。

宝保育園について

- Q 民間保育園の措置費が大幅に減額されている理由は何か。

- A 在園している保育園児の数に応じて単価が決まっているため、園児の減少により措置費が大幅に減少した。
- Q 宝保育園町営化に向けた、進捗状況を伺う。
- A 現在、法人の解散に向けて手続きを進めている。

みらい工房の活動

- Q 通所者が令和2年度の10人から令和4年度には7人に減少しているが、理由は何か。
- A 障害者の認定を受けた方が対象となり、1日作業を自立して出来る方を募集している。山嶺教室など進路指導が充実されてきたこと、町外にも作業所ができるなど選択肢が増えたことが要因と思われる。

福祉医療費支給事業

- Q ひとり暮らし高齢者の受給者数が令和3年度と比較して半減しているが、その理由は何か。
- A 対象者は町内で一人暮らしをしている75歳以上で年金収入が年間80万円以下の方、町民税非課税もしくは免除者、扶養親族の扶養者となっていない方、これら全てに該当する方が補助の対象となり、施設入所者や家族と同居されている方は対象にはならないことが理由と思われる。

難聴高齢者補聴器購入費助成

- Q 難聴高齢者への補聴器の助成の実績は？
- A 令和4年度は、購入助成が5件・修理助成が1件で、助成の全体額は41万円である。

重度障害者への手当の周知

- Q 特別障害者手当制度の周知・広報は行われているか。
- A 対象は在宅の寝たきりの方であり、広報誌等で周知しているが、ケアマネージャー会議の時にも連絡し、該当する方がいたときには町民課へ相談してもらおうようお願いしている。

養護老人ホームやすらぎの里

- Q 介護職員の処遇改善は行われているか。
- A やすらぎの里の職員の給与は社会福祉協議会の職員と同額が支給されており、給与面・処遇面共に改善されている。

新型コロナウイルス感染症対策

- Q 中学生海外派遣を中止したが、その理由は何か。
- A コロナ禍にあり、生徒も保護者も海外渡航への不安が払拭できていない時期でもあったので、海外派遣は見送る判断をした。現在、国内研修が順調に進んでいるので、それも含めて今後のあり方を探っている。

放課後児童クラブ

- Q 放課後児童クラブの指導員の給与改善は行われているか。
- A 放課後児童クラブの職員の給与改善は行われていないのが実情である。

延長保育

- Q 公立保育園の延長保育の利用状況はいかがか。
A 3園中、清嶺保育園と名倉保育園は0件、津具保育園は3件の実績があった。

行旅死亡人葬儀委託

- Q どういう形で葬儀を委託されたのか。身元受取人は見つかったのか。
A 福田寺で手続きをしていただいた。免許証等から身元確認はできたが、家族が受け取りを拒否されたため、無縁仏として納骨された。

社会福祉施設等支援交付金

- Q 社会福祉施設等支援交付金が、町内の歯科医院に支払われないのはなぜか。
A 地方創生臨時交付金（コロナ対策費）で行ったが、歯科医院から要望がなかったため、今回は通常の医療機関のみとした。

老人クラブ

- Q 老人クラブの団体数が令和5年は13団体に減少している。老人クラブ衰退の理由は何か。
A 人口減少と高齢化があるが、地域のリーダーの存在も減ってきたことだと考える。
Q 時代の要請と共に、存続可能な老人クラブの在り方を皆で考えつつ、力強く活力ある町とするために、町として老人クラブを育てる意気込みをお聞かせください。
A 地域で自主的に活動できる老人クラブであるために、補助金の在り方、申請の在り方等を、使い勝手の良いものにしていきたい。

町営バスの運行

- Q 豊鉄バスが廃線となり、町が同様のサービスを提供すると想定した場合、修繕費、委託料などランニングコストの試算はされているか。
A 田口新城区間では、新城区間を運行する距離が長いので、今のところ、試算は出せない。津具線では、今の運行体制ではないが、一人の運転手で可能ならば、今の委託料より多少は安くなるが検討段階である。基本はこのまま豊鉄バスに運行していただく事としているが、将来に備える危機管理は必要である。

地域医療

- Q 北部医療圏の存続はどうなっているか？
A 令和5年度も継続しており、現在は合併そのもの話はない。

住民健診の実施率

- Q 令和4年度の住民健診の実施率は？
A 国民健康保険加入者の54%の実施率。胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診などは増えているが、子宮がん検診、乳がん検診は高齢化のため減少している。町全体の割合は、各種保険組合があるため分からない。

自殺対策

- Q 自殺対策事業の認知度は把握しているか？
A 認知度の具体的な数値まで把握していない。

コロナワクチン集団接種会場

- Q 名倉・清嶺地区を増やせないか？
A 当初は4地区だったが、接種後の救急医療体制が確立できなくなる恐れがあり、そのため「したら保健福祉センター」と「つぐ保健福祉センター」の2か所とした。希望者には送迎の対応をしている。

環境美化

- Q 鹿島川の水質の改善がみられたか？
A 以前より数値的にも改善されている。
Q 環境美化活動の実施団体が8地区から13地区に目標設定されたが？
A より多くの団体が増えることを希望している。

旧斎苑解体撤去工事関連事業

- Q 斎苑建設事業の旧斎苑解体撤去工事施工管理業務の550万円は高額ではないか。
A 火葬炉の解体のためのアスベスト処理対策やダイオキシン類及び重金属類など特殊な調査のため費用がかさんでいる。特殊な業務であるため大阪や浜松の業者に依頼している。

北設広域事務組合

- Q 北設広域事務組合負担金（し尿処理場の処理費・維持管理費）が1294万円増と突出している理由は？
A 開設年度は機器点検委託などが不要であったが、令和4年度以降は必要となったため増額となった。
Q 資源ごみ減量の意識喚起するためプラスチックごみの量を広報したら等で知らせてほしい。
A 周知方法を今後検討したい。

奥三河郷土資料館

- Q 新規オープン後2年目の奥三河郷土館の来館者数の伸びが見られない。有料入館者の収入額は？
A 有料入館者による収入は150万円ある。入場料を無料にすることは考えていないが、魅力ある企画展の回数を増やすなどして来館者数をさらに伸ばしていきたい。

社会体育施設

- Q 現在のスイスイパーク利用者数は？
A 令和4年度は2000人程増加している。今後はさらなる利用者数を増やしていきたい。

学校給食

- Q 給食費を公会計化したことにより安定した調理場運営ができたというがどうか？
A 給食費を公会計化したことにより、学校から業者への支払い時期等の負担が減った。

町民図書館の有効利用

- Q 町民図書館の利用者数は減っているが、貸出冊数が増えた要因は？
A 新型コロナウイルス感染症対策のため休館期間があったが、1回あたりの貸出冊数を8冊までしたり、ネット検索が可能になったりしたためである。

■ 特別会計

国民健康保険

- Q 令和4年度の一人当たりの年間保険料が令和3年度と比較して8278円の増加になっているが、コロナ交付金で抑制を図れたのではないか。
- A 地方創生臨時交付金(コロナ交付金)を支給するには、「広く皆さんに」が前提となっているので一部の国保の保険者だけということは考えていなかった。
- Q 設楽町国民健康保険運営基金が令和5年度にマイナスにならないよう、国民健康保険補助を除いて

- 一般会計から繰り入れてもいいのではないか。
- A 一般会計からの繰り入れ(法定外繰り入れ)は、国の指導では難しいが、状況を見て検討していきたい。

公共下水道事業

- Q 令和3年度、令和4年度の接続可能数と接続加入戸数は何件か。
- A 令和3年度、公共下水道接続可能数は225件、令和4年度は3件であり、令和3年度接続加入戸数は61件、令和4年度は48件である。

文教厚生委員会

9月12日開催 / 附託された議案5件、陳情4件

付託された5議案はすべて可決すべきものと決しました。陳情は1件が採択すべき、1件が趣旨採択すべき、2件が聞き置くべきと決しました。

■ 主な質疑

斎苑の修繕を行います

- Q 「斎苑の修繕」とは、どの箇所の修繕を行うのか。
- A 火葬炉の修繕を始め、斎苑全体の修繕を行う。

田口・平山地区に資源回収ボックスが設置されます

- Q 今までの資源ごみ回収ボックスを新しいものに交換するのか、また、設置場所はどこか。
- A 平山地区は、今までのものを撤去して、同じ場所に新たな資源回収ボックスを設置する。田口地区は、保健センター裏の空きスペースに新たに追加し、今までの資源ごみ回収ボックスは残す。

設楽ダム対策特別委員会

9月14日開催 / 所掌事務の調査を行いました。

設楽ダム建設事業と設楽ダム関連事業について国土交通省と愛知県からの説明を受け質疑を行いました。委員会終了後、瀬戸設楽線4号トンネル工事、設楽根羽線暫定供用区間及び、小松田口線8号橋の工事進捗状況の説明を受けました。

主な質疑は以下のとおり。

- Q 10月から県道設楽根羽線の一部暫定供用が小松田区まで行われるということだが、八橋地区までの供用はいつ頃か。
- A 令和8年度の供用開始を目指している。
- Q 本体工事が始まるが、自由に見学できる場所がない。見学場所の設置をどのように考えているか。
- A 見学場所を設置したいと考えている。駐車場や、アクセスルートの検討が必要である。本体工事を進めるなかでなるべく早く整備し、見学が可能になるようにしたい。
- Q 本体工事に際して、関係者の宿舍の規模はどの程度になるか。
- A 本体掘削時には150人、コンクリートの打設が始まると最大で450人程度が滞在することが予想される。
- Q 県道和市清崎線を通行止めにして工事を行っているが、通行止めにするこなく工事を進めることはできないのか。
- A 和市清崎線は道路拡幅工事であるため、通行止めをして工事を進めている。早期に完了するよう工事箇所を増やし進めている。
- Q 段土国有林に埋められている劇薬について、ダム湖の上流にあることを国としてどのようにとらえているのか。町は除去を要望しているがそのアシストをいただきたい。

- A ダム及び貯水池を管理する立場からも決して良いことではない。河川管理者としてできることはないか、町と調整していきたい。
- Q ダム計画が8年延びたことで、水源地域特別事業、基金事業の計画も変更される。対象事業の検討をしてほしい。
- A 計画の内容については町と相談しながら詰めていく。対象となる事業についても努力する。



健康づくり、スポーツ振興を

質問 『したらで健康マイレージ』への取組の現状は。

保健センター所長 今年度からアプリ登録開始し、現在は35名。目標の75名以上達成に向け、意識啓発を促進していく。

質問 各種イベント情報等のPRが行き届いていない。解決策は。

教育課長 そのような現状を認識している。考えられるツール（配布物、広報無線、町ホームページ、メディア）を使って情報発信する。

質問 三世代の町民が参加できるスポーツ大会（町民運動会）を開催してはどうか。町村合併後は一度も開催されていない。町の活性化や人との交流のためにも開催を。

教育課長 交流の促進や地域活力の増進などのメリットから考える余地はあるが、相応の規模の運営組織と十分な準備業務が必要となる。また、住民との協働も不可欠。

教育長 やってみる価値はある。日程や方法を検討したい。

町長 2年後は合併20周年になる。要望が高まれば検討したい。

埋蔵文化財の積極的な保存と管理を

質問 鞍船遺跡の現状（写真参照）から、竪穴式住居の復元と作業道の整備を。

教育課長 過去の答弁「保存は現状維持以外に選択肢がない。」のとおり。家屋の復元は町としてはできない。作業道は町の維持管理にはあたらない。

質問 復元作業は地域ボランティア有志で実施してもよいか。

教育長 大歓迎。文化財を保護する気運が高まれば協力したい。



村松 一徳 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!



金田 敏行 議員



QRで動画で見よう!

町民の安心安全な暮らしを守る補助金について

質問 防犯カメラ設置の補助金は。

総務課長 県が本年4月から「自主防犯活動促進事業費補助金交付要綱」を施行した、町内で空き巣被害が発生し昨今の社会情勢を考えると必要性はあると思うので、制度化に向けて要綱を制定して前向きに検討する。

質問 防犯灯設置に関する補助金の増額は。

総務課長 電気料の高騰が続いており今年度より防犯灯の新規設置だけでなく、既存の防犯灯をLEDに更新する経費を全額負担し増額している。

質問 詐欺防止用電話機器等及び防犯用具の購入及び設置の補助金は。

総務課長 基本的に個人に帰属する物品への支援は、特定の場合を除いて慎重な検討が必要。

設楽ダム建設に伴う小水力発電の計画について

設楽ダム建設工事が鹿島・戸田・竹中土木特定建設JVで208億760万円で落札した。

質問 設楽ダム建設の中で、小水力発電計画はどのように確認できるか。

企画ダム対策課長 ダム基本計画では小水力発電計画を反映した設計にはなっていないが発電設備を追加するための変更が可能であることは確認している。

質問 小水力発電の計画と事業推進について。

企画ダム対策課長 出力2,000KWの発電規模が最適であるが、建設費用の高騰により単独での事業実施は難しい、本町単独以外の方法も含め、事業手法について検討を進める。

食と農について

質問 学校給食での地場産物を活用した取組みの現状と展望は？

教育課長 毎月19日の「食育の日」には、町内産の食材を使うよう心掛けている。町内産品を食材として安定的に用いるには生鮮食品の種類や数量が少ないこと、学校への配送ルートが体系化されていないことの課題があるが、これらが克服され充実できれば、学校給食が地場産物の消費拡大にも貢献できると考える。

質問 食育推進基本計画、有機農業推進法、みどりの食料システム戦略推進対策、愛知県有機農業推進計画等、国、県が推進している有機農業に対する町としての取り組みと見解は。

産業課長 有機農産物を求める消費者が増え、生産性を落とすことなく化学肥料や農薬の低減が進めば、参入する農家さんも増えるのではと考える。今後の取り組みとして国、県の制度を利活用して農協と連携し有機農業への支援をしていきたい。



原田 純子 議員



① スマホで撮って
② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

携帯電話の不感地帯への打開策を

質問 携帯電話の不感地帯を全町的に把握しているか。

企画ダム対策課長 居住エリアの不感地帯はおおよそ把握しているが、その他の地帯は一部分の把握にとどまる。

質問 不感地帯解消に向けた働きかけは？

企画ダム対策課長 居住エリアを優先に解消を図るが、要望を行っても携帯業者が応じるか否かが前提となる。

近年の気象に合った豪雨災害対策を



田中 邦利 議員



QRで動画で見よう!

質問 避難所で、段ボールベットや毛布などは避難と同時に支給できないか。

総務課長 大雨等の一時避難の場合、避難される皆さんで毛布などは用意していただきたい。

質問 三都橋地内の陥没事故をふまえて、町内道路・河川の一斉点検を行う考えはないか。

建設課長 1級町道を始めパトロールを定期的実施しており、河川点検及び内水による浸水状況の把握を含め強化していきたい。また、橋りょう点検やトンネル点検の結果も有効に活用していきたい。

質問 水害対策の計画的な予算確保を行う考えはないか。

総務課長 専決処分による補正予算で対応可能。

今の健康保険証で十分 マイナカード移行は一旦中止に

質問 マイナンバーカードと健康保険証の一体化（ヒモ付け）はどこまで進んでいるか。

町民課長 国民健康保険で51.6%。

質問 医療機関で、オンライン資格確認ができない場合、患者に全額の支払いが求められる。

町民課長 「被保険者資格申立」をして自己負担分で支払うことができる。

質問 カード取得は任意であり、カード診療を原則とするのは法律違反だ。従来の保険証で医療体制は十分機能しており、カード移行は一旦中止を。

町民課長 マイナ保険証の実施は、国民の同意が重要。国の動きをみながら慎重に対応する。

設楽町の移住定住政策について問う

質問 移住定住政策について、現時点での目標未達の原因をどう考えているか。

企画ダム対策課長 設楽町が積極的に取組を行っていることを都市部の人々に認識して頂けていないことが大きな原因ではないかと考えている。

質問 町外からの移住者の方々からの意見等を政策の参考にしているのか。

企画ダム対策課長 町の移住施策を使い移住してきた方の話は聞いているが、その他の転入者については話を聞くことはできていない。

質問 実績が上がらない施策は取り止め、ニーズに合った施策に切り替える考えはないか。

企画ダム対策課長 少しずつではある設楽町が移住の候補地として選ばれるようになってきていると実感している。今後も年間10世帯の移住を目標に施策を継続していく。

質問 町外の人から見た設楽町の魅力を把握し施策に反映させるべきではないか。

町長 関係人口、交流人口の増加を移住定住に繋げたいと考えており、観光協会を含めた枠組の中で施策を進めたい。

質問 保育園の統廃合の話がでていますが、移住者のニーズや将来予測を入念に行わないことには町民の理解は得られないのではないかと。

町長 令和7年4月には3か所にしたいと考えているが、町民の理解が得られることが前提である。



七原 剛 議員



① スマホで撮って
② 議会動画へ

QRで動画で見よう!



原田 直幸 議員



QRで動画で見よう!

設楽ダム本体工事及び小水力発電事業について

質問 設楽ダム本体工事が契約されたが、いつから工事が始められるのか。

企画ダム対策課長 10月には工事着手と聞いている。

質問 請負業者に町の振興の為にどのような要請を行うか。

町長 町内消費、地域活性化、企業版ふるさと納税、作業員の住民票の異動や住民税の納税等を依頼する。

質問 小水力発電は設楽ダム計画の中に入っていないが、いつ計画を変更するのか。

企画ダム対策課長 遅くとも本体掘削完了までには計画を変更し、発電事業に参画できるようにする。

質問 発電事業参画に伴うダム事業に対する町の建設負担金は。

企画ダム対策課長 3,200億円の0.1%の3億2千万円を予定。

質問 2,000kWの発電所を建設する費用は。

企画ダム対策課長 負担金を含めて22億円を予定。

質問 負担金と建設費用の財源はどうするのか。

町長 基金から6億5千万円だけでは到底足りないのので、愛知県に対して協力をお願いしている。

質問 足りない部分の財源をどのように賄うのか。

町長 公募等を含めて、一緒にやっていただける方を探すことを考えている。

質問 売電収益と維持管理費用は。

企画ダム対策課長 当初の20年間は68億円、その後の20年間は30億円程度を見込んでいる。

質問 売電益の町民への還元は。

町長 直接見える形で還元する方法を検討していく。

議会活動報告

7月

- 3日 設楽町観光協会理事会
- 5日 愛知県市町村議会新任議員研修(名古屋)
- 7日 議会活性化委員会
行政視察(新城市)
東三河市町村議会議長協議会総会(豊橋市)
- 12日 設楽町老人クラブゲートボール大会
- 14日 三河東美濃地域間高規格幹線道路建設促進協議会総会
奥三河幹線道路(北設井桁道路等)整備促進協議会
三遠南信自動車道建設奥三河期成同盟会総会

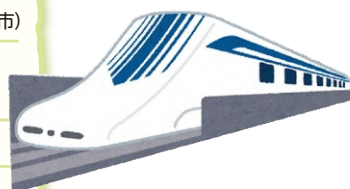
- 18日 議会運営委員会
- 22日 東三河市町村議会議員・事務局職員合同研修会(豊橋市)
- 25日 第3回議会臨時会
議会全員協議会
例月出納検査
東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会(豊橋市)
- 26日 北設楽郡町村議会議長会議
- 28日 決算審査



8月

- 1日 決算審査
- 2日 決算審査
- 3日 議会活性化委員会
- 4日 北設楽郡町村議会議員研修会
決算審査
- 7日 議会運営委員会
- 8日 東三河広域連合議会定例会

- 7日 東三河広域連合議会定例会
愛知県町村議会広報研修会(名古屋)
- 10日 リニア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟会総会(名古屋)
- 21日 議会全員協議会
- 23日 例月出納検査
- 24日 北設楽郡町村議会議長会議(豊橋市)
- 31日 議会運営委員会



9月

- 4日 第3回議会定例会(第1日)
決算特別委員会
- 6日 第3回議会定例会(第2日)
- 7日 JA愛知東合併30周年記念式典(新城市)
- 8日 決算特別委員会
総務建設委員会
- 9日 設楽中学校運動会・津具中学校体育大会
- 12日 決算特別委員会
文教厚生委員会

- 14日 設楽ダム対策特別委員会
- 15日 議会運営委員会
- 16日 津具保育園・小学校 合同運動会
- 20日 第3回議会定例会(第3日)
東三河産学官交流サロン(豊橋市)
- 23日 田口小学校、清嶺・田峯小学校、名倉小学校運動会
- 26日 北設広域事務組合議会定例会
- 28日 新城北設楽交通災害共済組合議会定例会(新城市)
- 29日 愛知県戦没者追悼式(名古屋)



12月定例会 の日程(予定)

場所：設楽町役場 議場
時間：午前9時から

- 12月4日(月) 開会・一般質問・提案説明
- 12月7日(木) 総務建設委員会
- 12月11日(月) 文教厚生委員会
- 12月13日(水) 設楽ダム対策特別委員会
- 12月19日(火) 委員長報告・討論・採決・閉会
(設楽ダム対策特別委員会は午前9時30分から)(日程は変更になることもあります)

広報編集委員 委員長：村松純次 委員：七原剛 原田直幸 原田純子 村松一徳



「したら議会だより」は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。